



8月8日(日)～13日(金)矢萩ツクボの森サマーキャンプ

8月8日から13日にかけて、ボーイ隊とベンチャー隊の面々は5泊6日の長期キャンプに参加しました。ボーイ隊のスカウトにとって長期キャンプは初めての経験です。いつもは1泊なのを夜中に遊んでも、活動で疲れても次の日には帰って風呂に入れる、ぐっすり寝るのに対して、長期キャンプでは無理をすれば次の日には疲れが滲み、それが重なる体調不良になるスカウトも多数いました。

初日は台風、後半は怒涛の雨、テントも荷物もじっとり濡れてドロドロ…そんな中でも湿気た薪で火を起さなければご飯も食べられません。過酷!これを過酷と言わず何が過酷か!指導者はタープの下で椅子に座って「がんばれー」というだけで役には立ちません。頼れるのは自分と班員のみ。

うどんを作れと言われ、家庭でしているようにお湯をたっぷり沸かして袋うどんを茹でるスカウトもいましたが、いやいや、水で洗えば食べるがー?頭使おうや!と言われたり、洗濯しろと言われたら何故か防寒着や制服のごつついズボンまで洗うので、いやいや、雨が降るのにこんなの乾かまー?と言われたり、なんというかまだ知識が足りない部分も見えましたが、後半になるとジャンバラヤってなんや?って言いながらものんとか食べれそうなのを作ったり、ターペを伝って落ちてくる水で手を洗うなど野生児のような逞しさを身につけて帰ってきました。

キャンプ中作成したもの…炊事場所のテーブル、食器などを置いておくための竹の台、洗濯物を干す結び目付きのロープ、ロープで作った遊具モンキーブリッジ、ブルーシートのシャワールームなどなど。指示を聞いて頭の中でぱっとイメージできたスカウトから、全体に指示を出して動き出す様はカッコいい！の一言に尽きました。

6日間を終えて帰ってきたスカウトは「電気が…電気が付いている」「火がなくてもご飯が炊けるなんて」と原始人のようなコメントを連発し、文明の力と親のありがたさに感謝したとか、したはず…、するべきだ！

日頃のスカウトの頑張りと、沢山の準備とスカウトの心を陰ながら支え、気持ちよく送り出してくれた保護者の皆様、森を都窪のために貸して下さった岡山17国の菅野さん、皆さんのおかげで矢萩サマーキャンプを無事に終えることができました。ありがとうございます。スカウトより、これからも立派な社会人になるべく逞しく生きていてください！君たちはカッコいい！(saori)

8月29日(日)オンライン隊集会「釣りキャンプ計画」

緊急事態宣言に伴いZoom隊集会に急遽変更し、10月に行う「釣りキャンプ」の課題「何が釣りたいか?」「どのような釣り方で?」「料理方法は?」「危険な海洋生物を調べる」を順番で発表して行きました。

課題に真剣に取り組むしっかりと調べて来ており、なかには釣りの仕掛けを詳しく調べていたり、料理前の処理方法までも課題以上の発表をしてくれました。危険な海洋生物と釣りたい魚をランダムで並べたクイズでは名前を言い当てたり、明らかにヤバい物やかわいいけど危ないなど大変盛り上がりました。(kaji)



8月22日(日)サマーキャンプ振り返り隊集会(吉備公民館)

まん延防止等重点措置のなかにも拘らず公民館に集合しての隊集会をさせて頂きました。コロナの対策を充分に行い、更にコロナについても自分たちで出来る事、自粛期間中だからこそ出来る事を大きな声で討論するのではなく付箋で意見を書き、共有しまとめていくKJ法(プレスト)で行ってみました。

いろいろな意見が出て来て慣れて来たようなので、5日間のサマーキャンプの経験を活かすために振り返りを進めて行きました。キャンプで苦労した点、改善していきたい点、改善方法などもKJ法で行っていくと、スカウト達が感じていた事が数多く出てきて驚きました。日頃なかなか発言出来ないスカウト達も書いて貼り出す事で、言いにくい事や思っている事がどんどん出てきた事で、指示する側の意見、受ける側の意見やお願いを共有することが出来ました。



改善していく方法も指導者からは出ない発想も出てきて大変充実した内容になったと思います。(kaji)



ベンチャー隊通信

7月31(土)～8月1日(日)県連主催パイオニアリング章考査講習会(幡降野営場)

都窪2団からはベンチャー隊 八木君、中山君が参加しました。31日は基本訓練で設計図を書き、模型を作成してイメージから次第に具体的な物に仕上げる作業で、その時点で必要材料の確認作業と結束方法の確認をしました。

2日目はいよいよ四脚通信塔作成をします。実際に人が乗れる物を作成するので結束は確実に！指導者から「撤収を考えての結束」を心がけて完成です。昨年とは違いちゃんと人が乗れる物が出来ました。

「人が乗っても大丈夫!」ロープワークはなかなか覚えるのに苦労しますし、立ちカマドぐらいいかに使わないアイテムかもしれませんが、こうした構造物が出来るのを実感出来たのではないかと思います。(takahashi)

「みんなで力を合わせて大きな物を作るのは楽しかったです!」(八木)



カブ隊通信

8月1日(日)鬼ノ城(血吸川)沢登り

カブ隊、夏の鬼ノ城まつり♪いよいよ第三弾は、鬼ノ城(血吸川)沢登りでした。鬼ノ城山の東側の麓にある奥坂休憩所で開会式を行い、沢登りのスタート地点まで20分程山道を歩きます。暑い中、登り坂を歩いて「これじゃあ、ただのハイクじゃん!」とスカウト達は不満多めでしたが、スタート地点で川の水に足を浸けると歓喜の声が!!しんどい思いをした分、ご褒美があったね。

沢登りが始まると、岩だらけの上、苔のせいでズルズルすべる川の中をみんな歓声をあげながらズンズン進んでいきます。場所によっては川幅が広いところや、水が深く溜まっているところもあって、スカウト達は全身ずぶ濡れになって楽しんでいました。真夏の日差しの下での冷たい沢の水遊びは最高でしたよ!!篠原隊長!(当日、篠原隊長は体調不良でお休みでした)

滝の下の広い場所でカブ弁を食べた後は、自由時間です。水のかけ合いっこをしても冷たくて気持ちいい感じです。この自由時間にスカウトにちょっとした冒険に挑戦してもらおうと、滝の水が激しく流れるところをロープを使ってよじ登るという体験を提案すると約半数のスカウトがチャレンジしてくれました。もちろん、指導者で安全に登れるようサポートしましたが、なかなかの勇気だったと感心しました。 帰り道は、登ってきた沢を下って行ったのですが、これまた苔で滑って転



んだり、デーンと尻もちをついたり(笑)。スカウトも保護者も指導者も、ちょっと痛い思いはしたものの大した怪我もなく、無事に下りることができました。奥坂休憩所まで戻り、濡れた服から着替えると、あまりの日差しの強さに、また、冷たい沢の水が恋しくなりました。(kita)

8月の活動を振り返って

最初は沢登りができましたが、その後まん延防止等重点措置に続き緊急事態宣言となり、隊集会が実施できない状況になりました。大山登山は中止、代わりに準備した耕心村水遊びも延期となりましたが、まだ実施のめどが立たない状態です。そんな中でカブブックやチャレンジ章に意欲的に取り組んでいるスカウト達を見て大変うれしく思うと同時に、私は逆に励まされている気持ちになりました。

学校も9月から2学期をスタートしていますが、まだスカウト活動はままならない状態です。その中でもみんなのモチベーションが上がるような活動を考えていきますので、みなさんもカブブックやチャレンジ章の履修に頑張ってください。指導者一同みんなに負けないよう頑張ります!! (Shinohara)



○ビーバー隊通信



8月1日(日)木堂清掃と夏の食べ物

新入隊のスカウトを迎え、本当に久しぶりの木堂清掃です。これまで何人のスカウトがここで奉仕してきたでしょう。天気がいい日が続き、地面が固くて草取りには苦勞しました。次回は涼しくなってからですね。

吉備公民館に移動して、保護者の皆様に料理の下ごしらえをしてもらっている間、エコキャップ数えを行いました。そうしているうちに準備万端整いみんなで一緒に食べるのは、そうめんとフルーツポンチです。フルーツポンチ中央にはペットボトルのサイダーが置かれ、ラムネを入れてジュワジュワさせてからごちそうになりました。(ujihira)

8月7日(日)名探偵コナンとなつの星座をみよう

大山行きは残念ながら中止となりましたが、その代わりに今日はサイビアで星について学ぶことになりました。集合したスカウトは、太陽の丘公園で、隊長からの観察のミッションに挑戦！公園の中にある、四つの木(ハクモクレン、すだじい、ねずみもち、ソメイヨシノ)を探してみよう。というの。観察はスカウトの大事な技能の一つ、スカウトは暑い日射しにも負けずに、公園のなかを走り回ってミッションをクリアしました。

四つの木を探したあとは、カブ弁の時間。みんなで外で食べるゴハンは、やっぱりおいしいね。カブ弁の後は、いよいよ星のお話し。隊長から、夏の大三角についてのお話を聞いたあとは、プラネタリウムを見学。最初は名探偵コナン、銀河鉄道の旅と謎解きはとてもおもしろかったね。ここで、みんなに嬉しいおやつタイム。冷たいジュースとお菓子をいただきました。おやつの後には、今度は岡山の夜空をプラネタリウムで見学。夏の大三角についても一度教えてもらいました。プラネタリウムでみた夜空も良いけど、お家から本物の夜空を観て、夏の大三角を探してみるのもイイね。月や星についても色々観察してみよう。(tani)